

第2章 千葉県体育・スポーツ推進の基本的な考え方



第2章 千葉県体育・スポーツ推進の基本的な考え方

1 千葉県体育・スポーツ推進の基本理念

社会生活に多大な影響を及ぼしている新型コロナウイルス感染症への対応や、超高齢社会の到来、共生社会の実現等、社会における課題やスポーツを取り巻く情勢の変化、また第12次計画の成果と課題を踏まえ、これからの本県におけるスポーツ推進の基本理念を以下のとおり掲げます。

「する・みる・ささえる」スポーツのさらなる推進

～ 「知る」から広がる充実スポーツライフ ～

全ての県民が、スポーツの意義や価値を理解する（スポーツを知る）ことにより、ライフステージに応じた多様なスポーツに日常的に親しみ、健康で活力ある生活を送り、互いに支え合うコミュニティを形成する。

東京オリンピック・パラリンピックを契機としてパラスポーツを充実・発展させる。

「知る」から広がる充実スポーツライフ

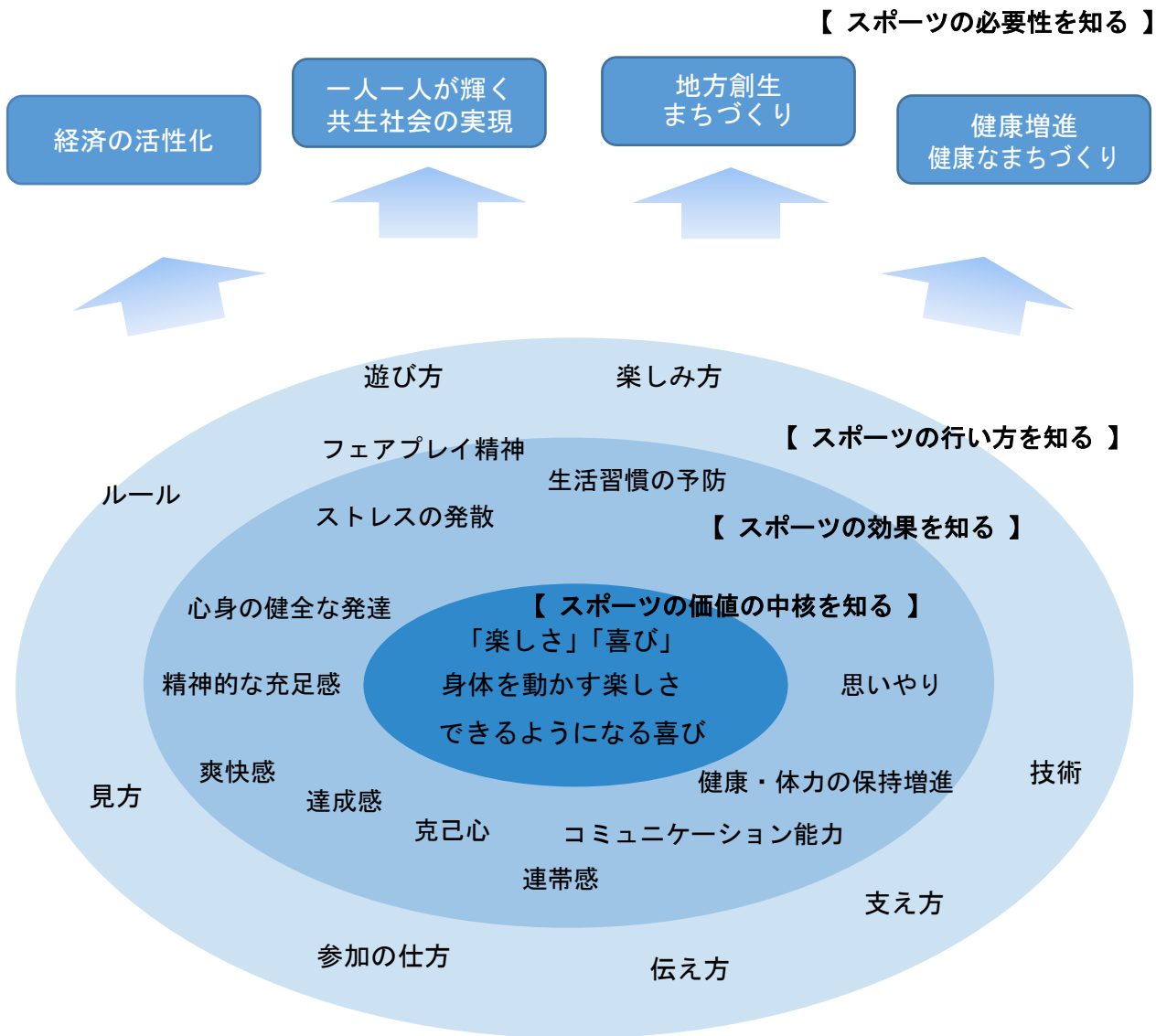
スポーツには、「する」だけでなく、「みる」「ささえる」といった関わり方があります。さらに本計画では、「する・みる・ささえる」スポーツの基盤となる「スポーツを知る」という関わり方が、スポーツを推進する上で重要であると考えています。

「スポーツを知る」とは、身体を動かす楽しさやできるようになる喜びなどの「スポーツが有する価値の中核を知る」、健康・体力の保持増進やストレスの発散などの「スポーツの効果を知る」「する・みる・ささえる」スポーツにつながる「スポーツの行い方を知る」そして、共生社会や地方創生・まちづくりなどの社会的な側面における「スポーツの必要性を知る」といった多面的な要素があります。

スポーツの楽しさや喜び、効果などを知ることで、スポーツを好きになったり始める動機づけになったりします。また、「する・みる・ささえる」に関わる具体的な行い方を知ることで、スポーツがより身近に、より深く、より楽しく充実します。さらにこれらの結果、スポーツに親しむ人が増え、社会的な波及効果が見込まれます。

第13次計画では、研修会や講習会、ホームページやリーフレット等を活用し、スポーツが持つ多様な力を効果的に発信することで、一人でも多くの県民が日常的にスポーツに親しみ、本県のスポーツが更に推進することを目指します。

— 知るから広がる充実スポーツライフ —



本県では、第12次計画の策定時より、超高齢社会を見据え、高齢期においても健康で生き生きと暮らすことを目指し、「健康ちば21の推進」をはじめ、「働き盛り・子育て世代のスポーツの推進」、「シニアスポーツの推進」等、様々な取組を展開してきました。

その結果、成人の運動実施率は65.1%（令和2年度）と目標値を達成し、特に高齢者の運動実施率は、80%前後と高い値で推移しています。本計画では、こうした成果を一過性のものにとどめることなく、ライフステージに応じた多様なスポーツを日常的に、また幼児期からシニア世代まで継続的に行うことを推進し、心身の健康増進や生きがいに満ちた生活の実現を目指します。

（2）互いに支え合うコミュニティの形成

人口減少と少子高齢化が進み、近年の社会情勢の変化により、地域における人との関わりが薄れてきている中、スポーツは人や地域を結びつける大きな力になります。

スポーツを目的として人が集い、人との関わりが生まれます。スポーツが習慣化することで、関わりは広がり、コミュニティへと発展します。これは、「する」スポーツだけではなく、応援やスポーツボランティア等、「みるスポーツ」や「ささえるスポーツ」でも同様です。また、様々な立場・状況の人がつながりを感じながらスポーツを楽しむことで、コミュニティは更に広がります。

本計画では、各市町村や各種スポーツ団体と連携を図りながら、人や地域の関りを中心としたスポーツ活動の活性化を推進し、地域コミュニティの形成へつなげていきます。

（3）パラスポーツの充実・発展

パラスポーツは、既存のスポーツを障害に合わせて改良したものや、障害のある人のために考案された独自のものなどがあり、数多くの種目が行われています。

パラスポーツは、道具や環境が整うことにより、障害の有無に関わらず、幅広い年齢で楽しむことができます。

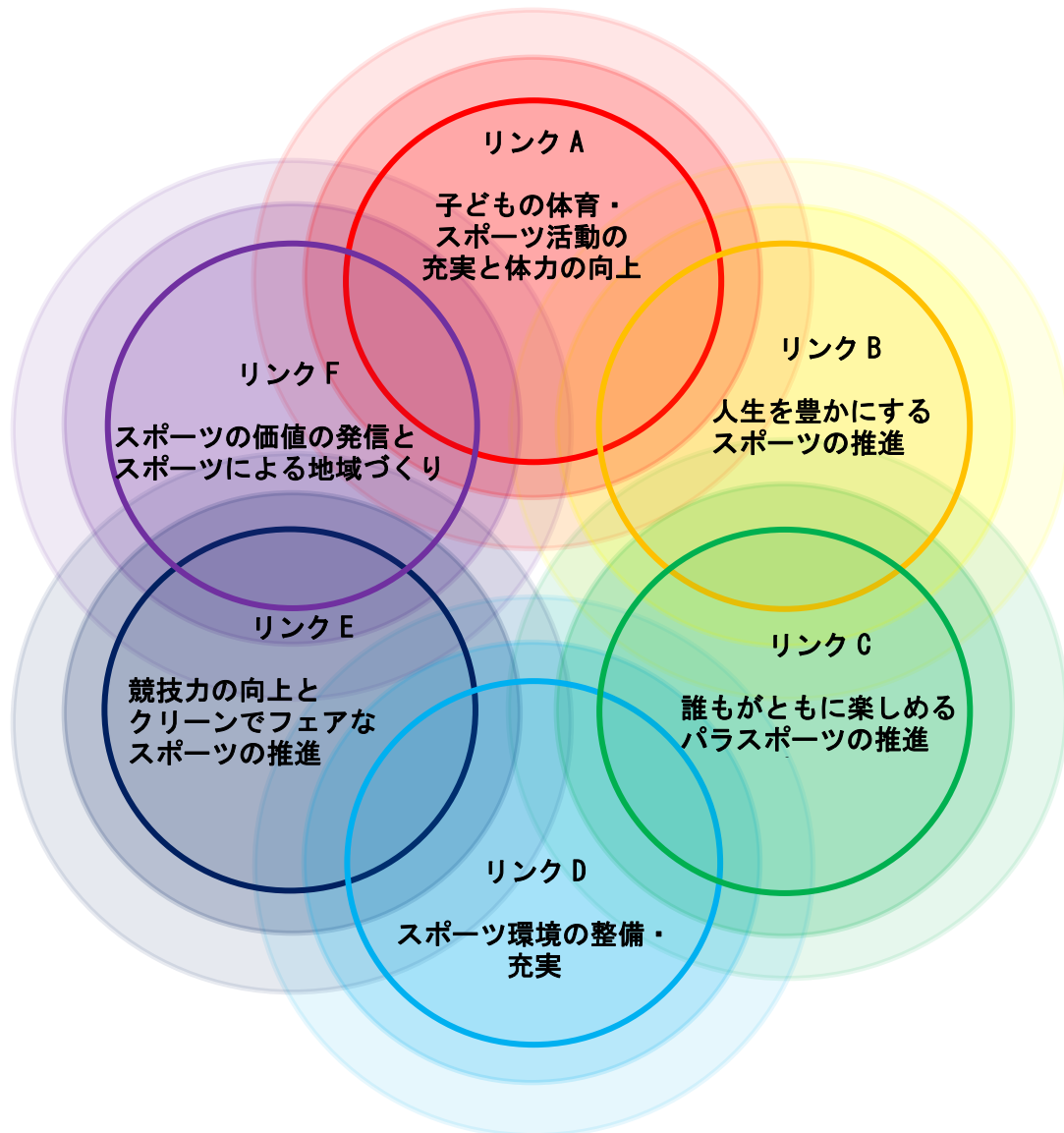
本計画では、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催効果を一過性のものとするのではなく、これまでの取組で芽生えてきた障害のある人のスポーツへの意欲を実際の参画につなげ、パラスポーツへの参画人口の拡大を更に推進するとともに、引き続きパラアスリートの発掘・育成や強化への取組も充実させていきます。

また、誰もが分け隔てなく一緒に楽しむことができるパラスポーツを普及・振興するとともに、障害のある人が生き生きと自分らしくスポーツに参加できる環境の整備を進め、新しいコミュニティを生み出し、一人一人が輝く共生社会の実現を目指します。

2 計画の構成

本計画では、基本理念の実現に向けて、6つの施策に各事業を整理しました。

また、それぞれの施策や事業が、他と密接に関わり合い、連携し合うことで、県全体のスポーツ振興を推進していきます。6つの施策は、全て同等に重要であり、独立して行われるのではなく、お互いに関連していることから、第12次計画を継承し、各施策を「リンク」と表記します。



施策1 ライフステージに応じたスポーツ習慣の定着と健康の増進 (P.35)

- 【目標】 新しい生活様式でのライフステージに応じたスポーツ習慣の定着と健康の増進を図るとともに、高齢者の健康づくり及び介護予防を推進します。
- 【取組】 ・スポーツ推進月間の実施 ・リーフレットの作成・配付
 ・ライフステージに応じたスポーツの情報発信
 ・総合型地域スポーツクラブに対する支援
 ・老人クラブでのシニアスポーツ推進 ・ねんりんピックへの選手団派遣
 ・千葉県福祉ふれあいプラザにおける介護予防に資する運動の場の提供

施策2 多様化するスポーツライフの充実・発展 (P.38)

- 【目標】 日常的に多様なスポーツに親しみ、スポーツ習慣の定着と健康の増進を図ります。
- 【取組】 ・健康ちば21(第2次)の推進に係る各種啓発事業
 ・情報共有システムの構築 ・スポーツイベント等の情報発信
 ・多様なスポーツの情報発信 ・スポーツ施設の情報発信

施策1 パラスポーツの推進 (P.41)

- 【目標】 パラスポーツを通じた共生社会へ向けての環境づくりを推進します。
- 【取組】 ・パラスポーツを通じた交流及び共同学習の推進
 ・パラアスリート等による学校訪問の実施 ・パラスポーツフェスタの開催
 ・パラスポーツ競技体験会への支援 ・市町村地域で実施する取組への支援
 ・指導者講習会・研修会の充実 ・パラスポーツの広報の強化
 ・障害者スポーツ大会等のイベント開催及び選手団の派遣
 ・パラスポーツ組織の整備
 ・千葉県障害者スポーツ・レクリエーションセンターの活用
 ・千葉障がい者スポーツ指導者協議会との連携

施策2 パラアスリートへの強化・支援の推進 (P.43)

- 【目標】 パラアスリートの発掘・育成及び環境整備、競技力向上への支援に努めます。
- 【取組】 ・パラ競技組織の支援体制の充実 ・競技人口の増加に向けた取組
 ・パラスポーツにおける競技ボランティア、介助者や競技パートナー等の養成
 ・共生社会におけるアスリート支援 ・合宿・遠征等への強化・支援

施策1 人材の育成 (P.45)

- 【目標】 スポーツ指導者の養成と指導力の向上、指導者の有効活用を推進します。
- 【取組】
- ・指導者養成講習会の実施
 - ・要項や受賞者紹介等、表彰制度の周知
 - ・生涯スポーツ功労者・生涯スポーツ優良団体の表彰
 - ・競技力向上推進本部表彰
 - ・指導者の資質の向上の推進
 - ・千葉県知事表彰
 - ・いきいきちばっ子コンテスト

施策2 施設の整備と有効活用 (P.47)

- 【目標】 耐震化・バリアフリー化の推進と老朽化施設の再整備・機能向上を図り、安全安心にスポーツができる環境を提供するとともに、県立学校体育施設の有効活用を推進します。
- 【取組】
- ・総合スポーツセンター施設整備事業
 - ・総合スポーツセンター体育館整備事業
 - ・公園施設長寿命化対策支援事業
 - ・県立学校体育施設開放事業

施策3 誰もがスポーツに参加できる組織基盤の充実・発展 (P.51)

- 【目標】 誰もがスポーツに参加できる組織基盤の充実・発展を図ります。
- 【取組】
- ・総合型地域スポーツクラブに対する支援
 - ・スポーツ関係団体との情報共有と情報発信の推進
 - ・県スポーツ施設指定管理団体への情報提供
 - ・千葉県スポーツ協会の充実と発展
 - ・学校体育団体の充実
 - ・千葉県障がい者スポーツ協会との連携
 - ・パラスポーツへの取組を推進
 - ・千葉県スポーツ推進委員連合会の充実
 - ・千葉県レクリエーション協会の充実



施策1 選手の発掘・育成・強化及び指導者の養成・資質向上 (P.54)

- 【目標】 個々の選手及びチームの競技力向上を推進します。
- 【取組】 ・国体選手強化・サポート事業 ・ちばジュニア強化事業
 ・WPN(ワールドクラス・パスウェイ・ネットワーク)の活用
 ・オリンピックアスリート強化・支援事業
 ・指導者の養成・確保・資質向上と適正配置

施策2 競技力向上のための環境整備 (P.56)

- 【目標】 計画的に競技用具の整備を進めるとともに、トップチームを支援し、競技団体の強化環境を整えます。
- 【取組】 ・競技用具等整備事業 ・トップチーム支援事業
 ・公共スポーツ施設の有効活用 ・選手・指導者の参加条件の整備
 ・ICTを活用した新しい強化様式の整備

施策3 スポーツ医・科学の積極的な活用 (P.58)

- 【目標】 効果的な選手強化のためにスポーツ医・科学の活用を推進します。
- 【取組】 ・基礎能力測定・障害相談・栄養相談の実施
 ・スポーツドクター・アスレティックトレーナー等の派遣
 ・メディカルチェックの実施 ・ドーピング防止啓発活動の普及
 ・女性アスリート強化・支援の充実

施策4 組織・調査等の充実 (P.60)

- 【目標】 国体選手選考、パラアスリートを取り巻く組織体制の整備、強化活動調査事業や競技力向上対策を行います。
- 【取組】 ・千葉県競技力向上推進本部会議等の開催 ・研修等による組織力の向上
 ・国体選手選考・強化活動調査事業 ・優秀選手及び優秀監督の表彰
 ・広報活動の充実

施策5 競技スポーツの充実及び好循環 (P.62)

- 【目標】 各競技会の充実と競技人口の拡大を図るとともに、トップアスリート等の能力活用を推進します。
- 【取組】 ・競技スポーツへの参加の裾野拡大 ・トップアスリート等活用事業
 ・アスリートキャリア開発 ・国際スポーツ交流への協力
 ・教育・研修プログラムの推進

施策1 アスリートと連携したスポーツの価値の発信 (P.64)

- 【目標】 知るから広がる「する・みる・ささえる」スポーツの更なる推進を図ります。
- 【取組】 ・ちば夢チャレンジかなえ隊派遣事業 ・ちば夢チャレンジ☆パスポート・プロジェクト
・トップ・プロスポーツ連絡協議会

施策2 地域資源を生かしたスポーツライフの推進と千葉の魅力発信 (P.66)

- 【目標】 地域資源を活用したスポーツの振興とともに、健康づくりや体力向上の機運の醸成と、ライフステージに応じた運動習慣の定着を図ります。
- 【取組】 ・ちばアクアラインマラソンの開催 ・スポーツツーリズムの推進
・スポーツボランティア活動の推進

施策3 オリンピック・パラリンピックのレガシーの継承・発展 (P.68)

- 【目標】 オリンピック・パラリンピックの無形のレガシーを継承するとともに、オリンピック・パラリンピックのレガシーを有効活用した地域の活性化を推進します。
- 【取組】 ・オリンピック・パラリンピック教育の理念の継承
・パラスポーツ等を通じた交流及び共同学習の推進
・競技団体等と連携した学校訪問
・JOC オリンピック教室
・ホストタウン相手国等との国際理解・国際交流の促進
・マリンスポーツを活用した地域の魅力向上
・「新たなスポーツ」の周知・研究

